



1本針3本糸ロックミシン

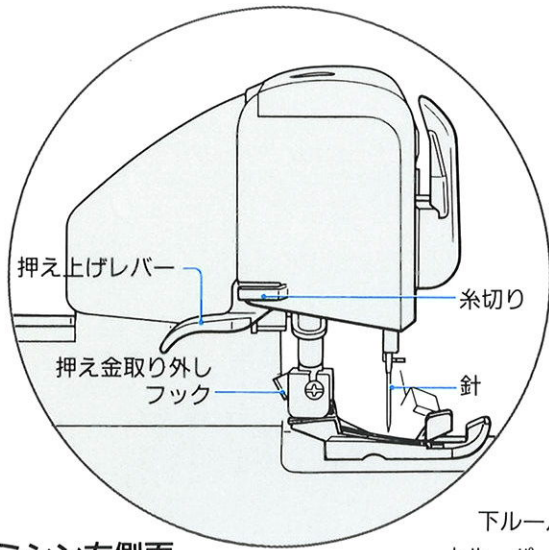


このたびはベビーロックをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
 ・ご使用前に、この『ご使用の手引き』をよくお読みいただき、正しくお使いください。
 ・保証書はお買い求めの販売店から必ずお受取りの上、『ご使用の手引き』とともに大切に保管ください。

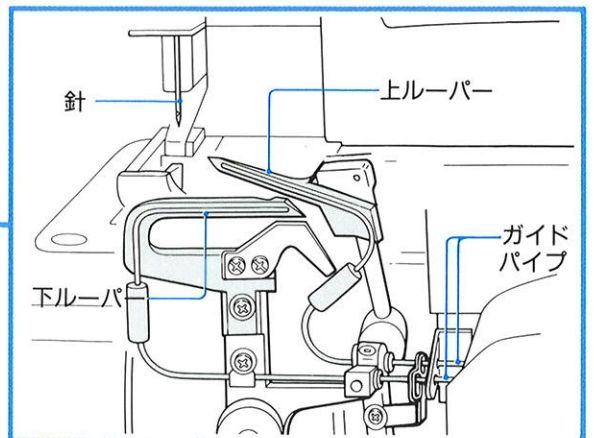
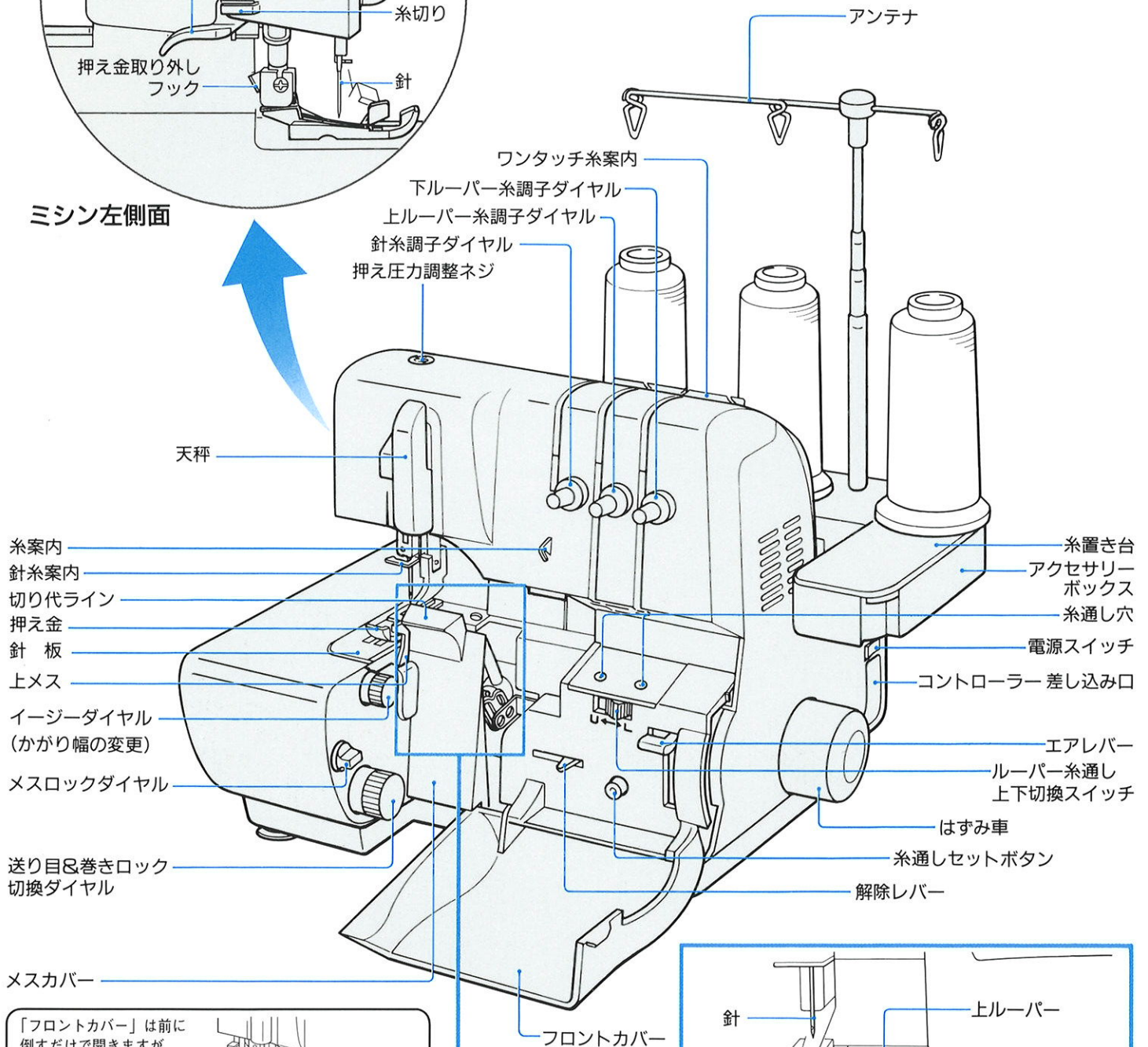
目次

各部の名称と付属品	1	糸調子(糸のバランス)の調整	12
縫うための準備	3	かがり幅と送り目の調節	13
試し縫い		上メスの固定/押え圧力の調節	14
(1)縫い始め	4	巻きロックでの縫い方	15
(2)縫い終わり	5	押え金の取り付け・取りはずし方	16
糸かけ		針・メスの交換	17
(1)糸かけの準備	6	修理を依頼される前に/仕様	
(2)下ルーパー糸のかけ方	7	/使用上の注意	18
(3)上ルーパー糸のかけ方	8	安全にご使用いただくために	
(4)針糸のかけ方	9		
(5)糸かけが終わったら	10		
(6)太い糸のかけ方	11		

各部の名称と付属品



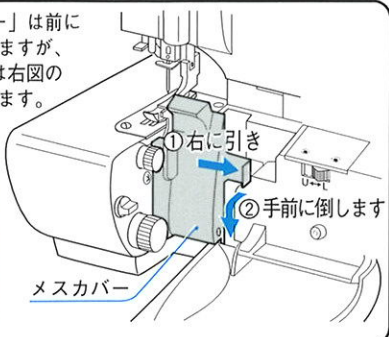
ミシン左側面



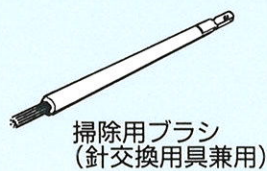
「フロントカバー」は前に倒すだけで開きますが、「メスカバー」は右図のようにして開きます。

注意

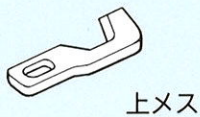
ケガの原因になります。縫う時は必ずカバーを閉めてください。



アクセサリボックス内の付属品



掃除用ブラシ
(針交換用具兼用)



上メス



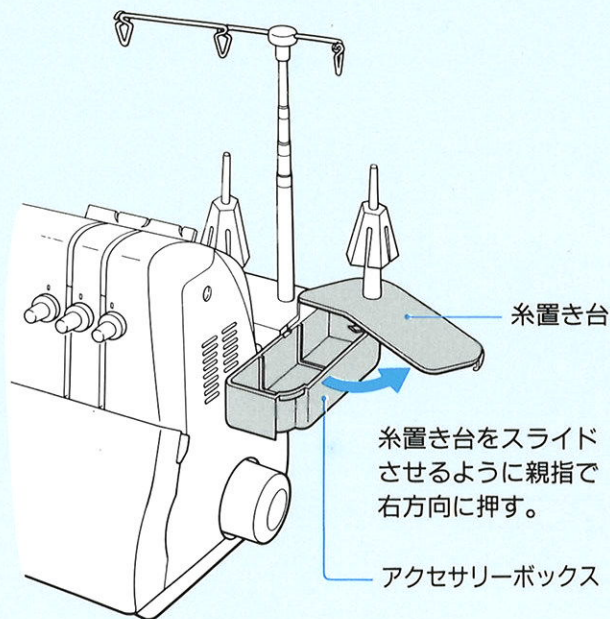
ピンセット



針 (HA×1SP#11)



ドライバー (小)

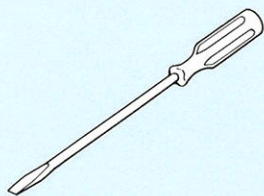


糸置き台

糸置き台をスライドさせるように親指で右方向に押す。

アクセサリボックス

付属品(アクセサリ)



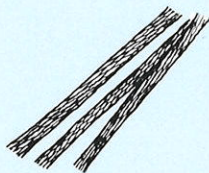
ドライバー (大)



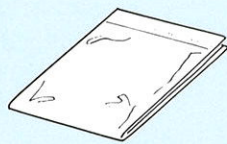
ルーパースレッダー



駒受け (3個)



ベビーネット (3つ)



ミシンカバー

ルーパースレッダーの使い方

“エアスルーシステム”のパイプの掃除具として、また「糸通し穴」に特に入りにくい糸を通す糸通し具として、使用すると便利です。

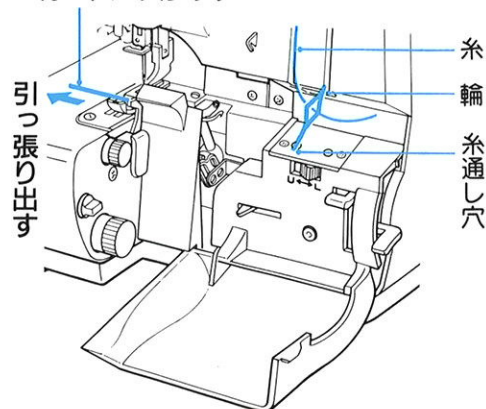
①掃除具として

「糸通し穴」から《ルーパースレッダー》を差し込み、ルーパースレッダーの先端から出てきたら引っ張り出します。パイプにたまった糸クズが取れます。

②糸通し具として

《ルーパースレッダー》の輪に、通したい糸を数cm入れ、①と同様に「糸通し穴」に差し込んで、ルーパースレッダーの先端から引っ張り出します。

ルーパースレッダー

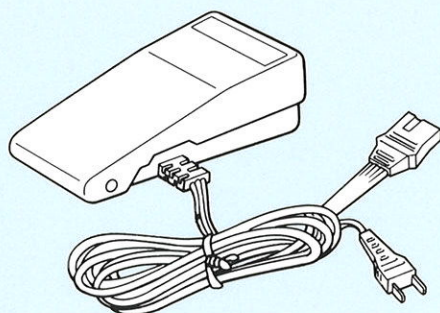


引っ張り出す

糸輪
糸通し穴

その他

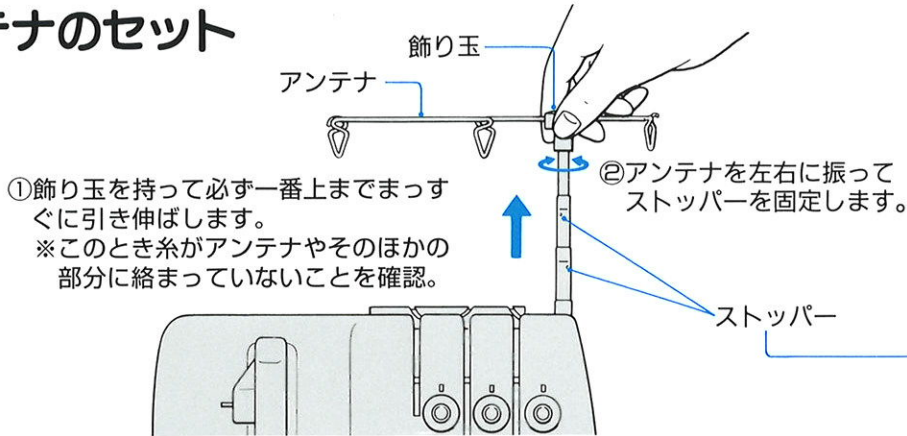
- ・保証書
- ・ご使用の手引き



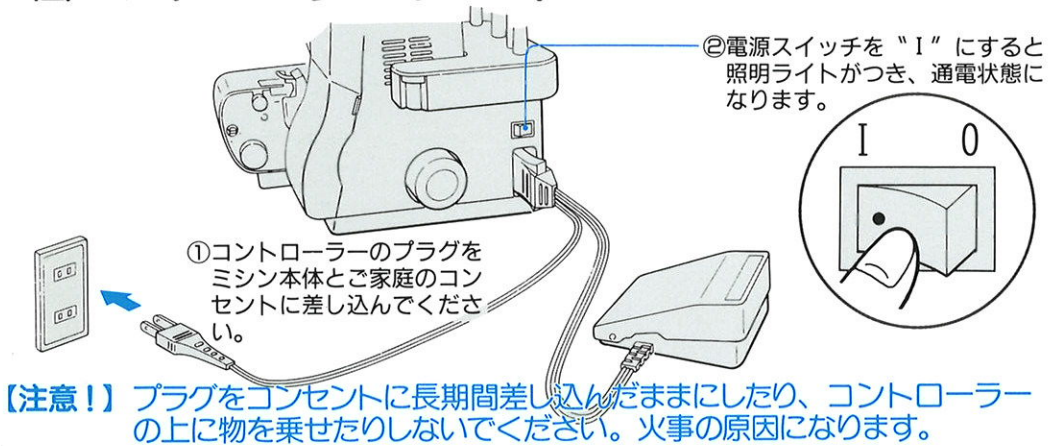
コントローラー

縫うための準備

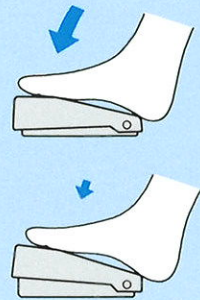
(1) アンテナのセット



(2) コントローラーのセット



スピードの調節

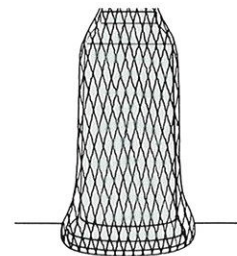


強く踏むと早く、
弱く踏むと遅くなります。

(3) 糸について (テトロン糸、スパン糸、ウーリー糸、飾り糸、穴糸、金糸など) 市販されているほとんどの糸を使用することができます。

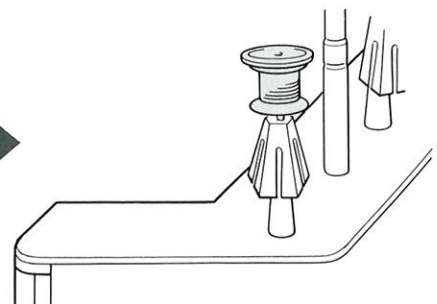
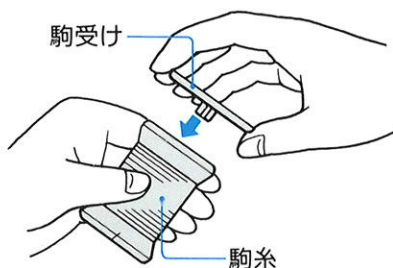
ベビーネットの使い方

化繊糸などのすべりやすい糸は、付属の「ベビーネット」をご使用ください。



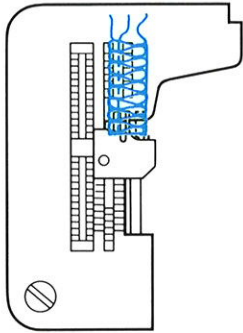
駒受けの使い方

普通、ロック糸を使用しますが、駒糸も使用できます。その場合は付属の「駒受け」をご使用ください。

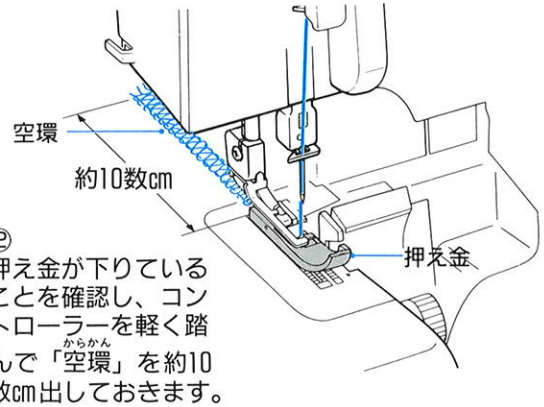
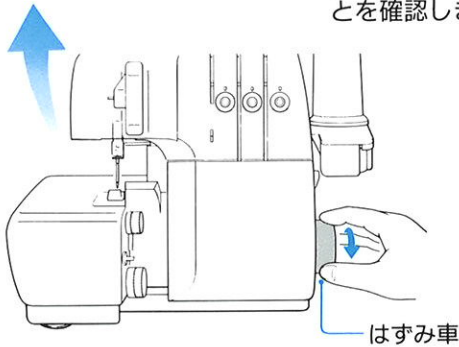


試し縫い

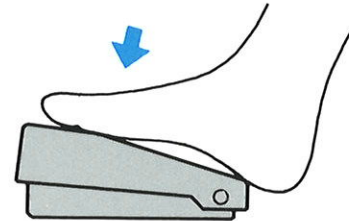
(1)縫い始め



① 「はずみ車」を手前方向に手で数回まわし、針板のツメに糸がからんでいることを確認します。



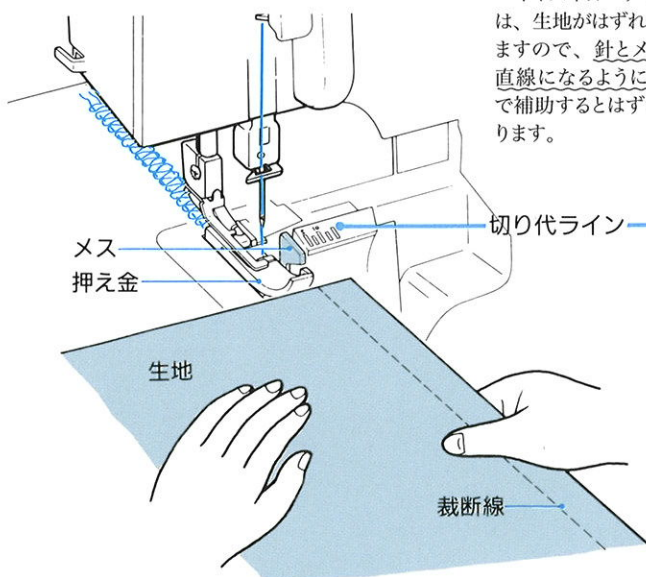
② 押え金が下りていることを確認し、コントローラーを軽く踏んで「空環」を約10数cm出しておきます。



メスに裁断線を合わせて、生地を置きます。このとき、押え金を上げる必要はありません。縫いはじめると生地は押え金の下へ自然と入っていきます。

(ワンポイント)

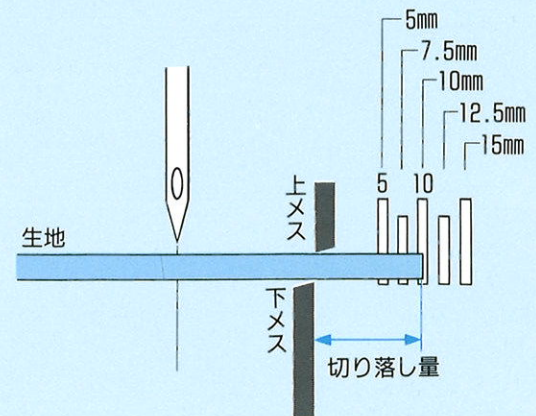
バイヤスやカーブを縫うときは、生地がはずれやすくなりますので、針とメスの間が直線になるように生地を手で補助するとはずれにくくなります。



縫うときは、右手は生地を軽く持って、左手は生地を軽く押えます。

(切り代ラインの使い方)

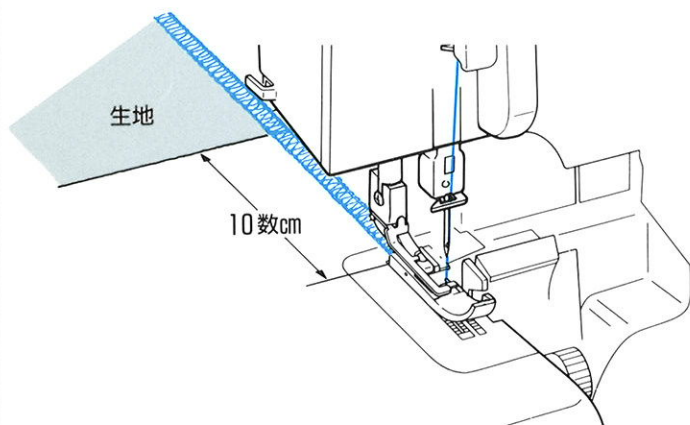
切り代ラインは、メスで切り落とす生地量の目安です。生地端を5の線に合わせて約5mm切り落とし、10の線に合わせて約10mm切り落とします。



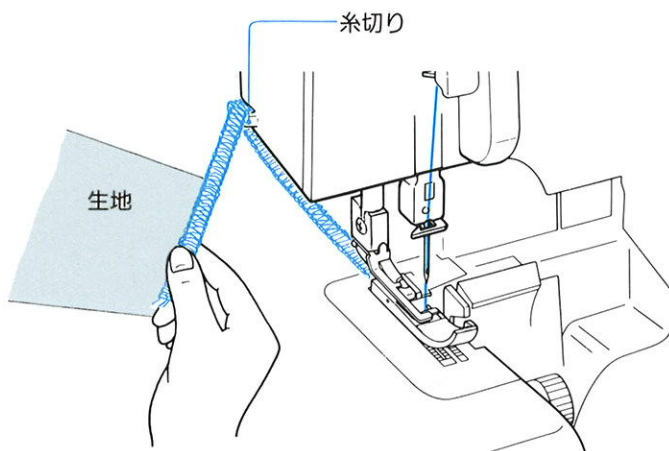
※切り代ラインは目安ですので、正確を要する場合は試し切りを行い、確認してから縫い始めてください。

【注意!】 針・ルーパー・メスの動く範囲に指や手を持っていかないでください。ケガをする恐れがあります。

(2)縫い終わり



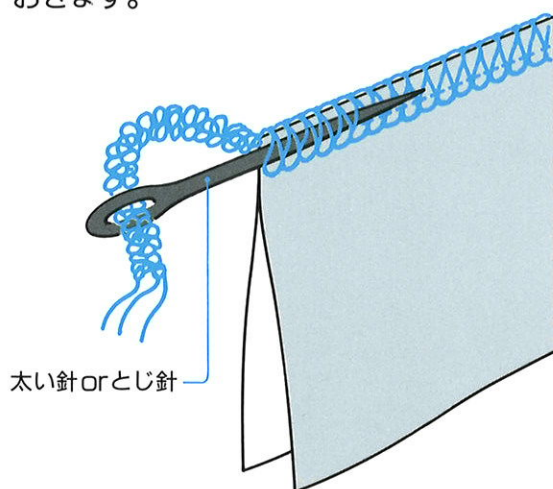
①
生地を縫い終わりましたら、そのまま空縫いをし「空環」を10数cm出しておきます。



②
最後に「糸切り」で「空環」を切ります。

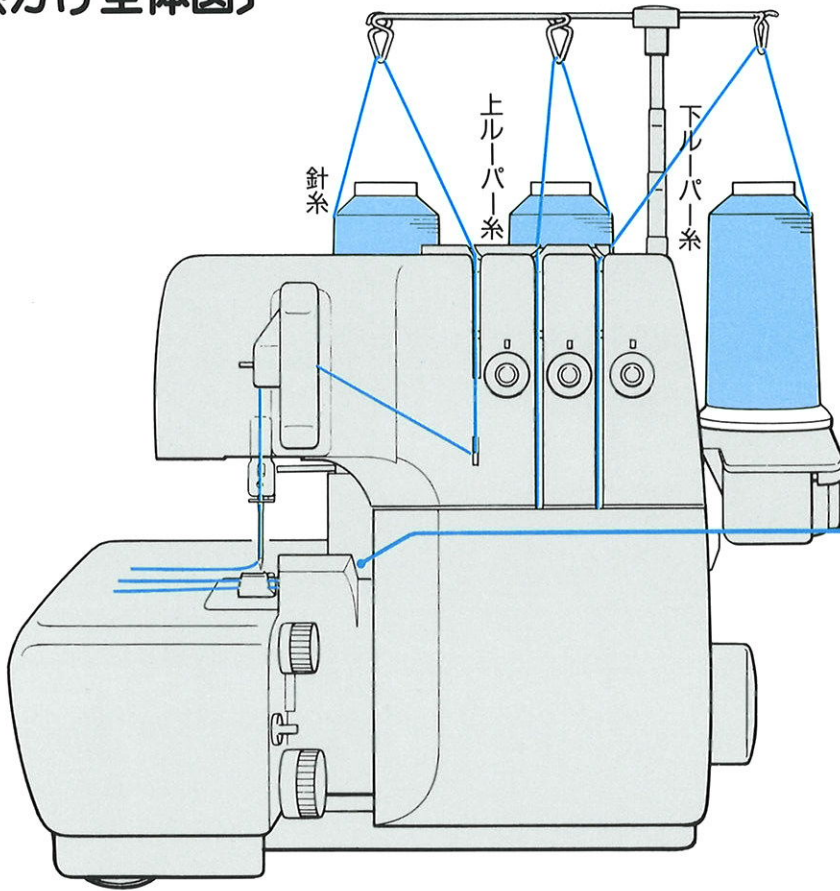
「空環」の始末

縫い終わった後、「空環」はとじ針で裏の縫い目に通しておきます。



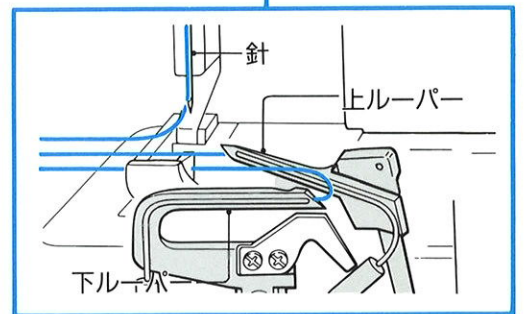
糸かけ

〔糸かけ全体図〕



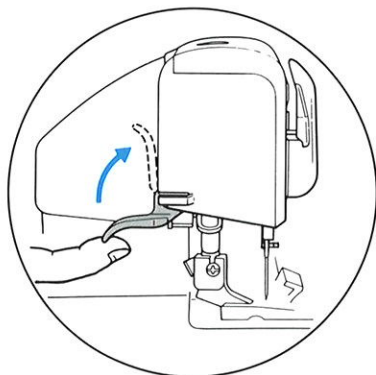
どの糸からかけてもかまいません。

糸が切れた場合はその切れた糸だけをかけ直してください。

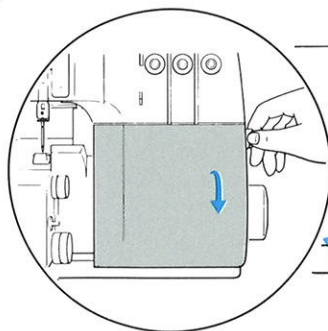


(1)糸かけの準備

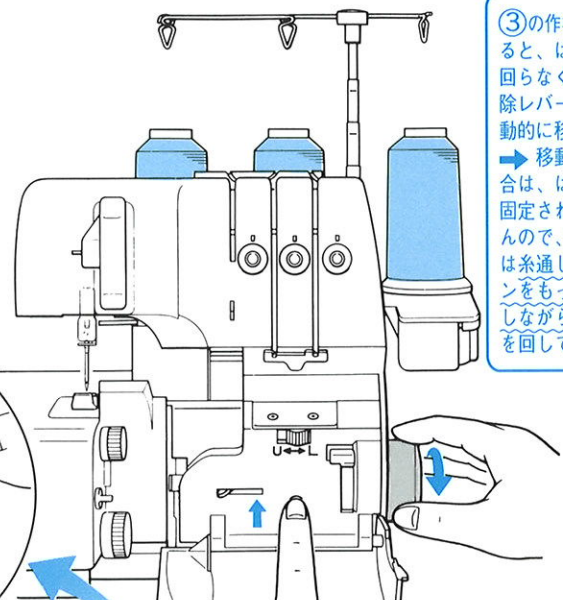
糸かけをする時は、必ず「はずみ車の固定」を行ってください。



① 押え上げレバーで押え金を上げます。



② フロントカバーを開けます。



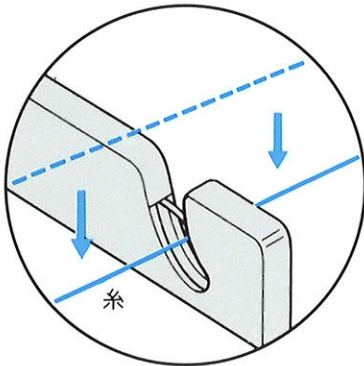
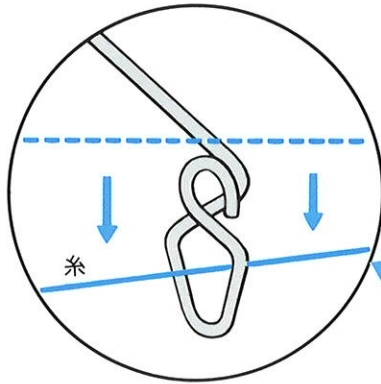
③ 糸通しセットボタンを押しながら、カチッと音がするまではずみ車を回します。

③の作業が完了すると、はずみ車が回らなくなり、解除レバーが左へ自動的に移動します。
→ 移動しない場合は、はずみ車が固定されていないので、再度、今度は糸通しセットボタンをもっと強く押しながらはずみ車を回してください。

はずみ車の固定

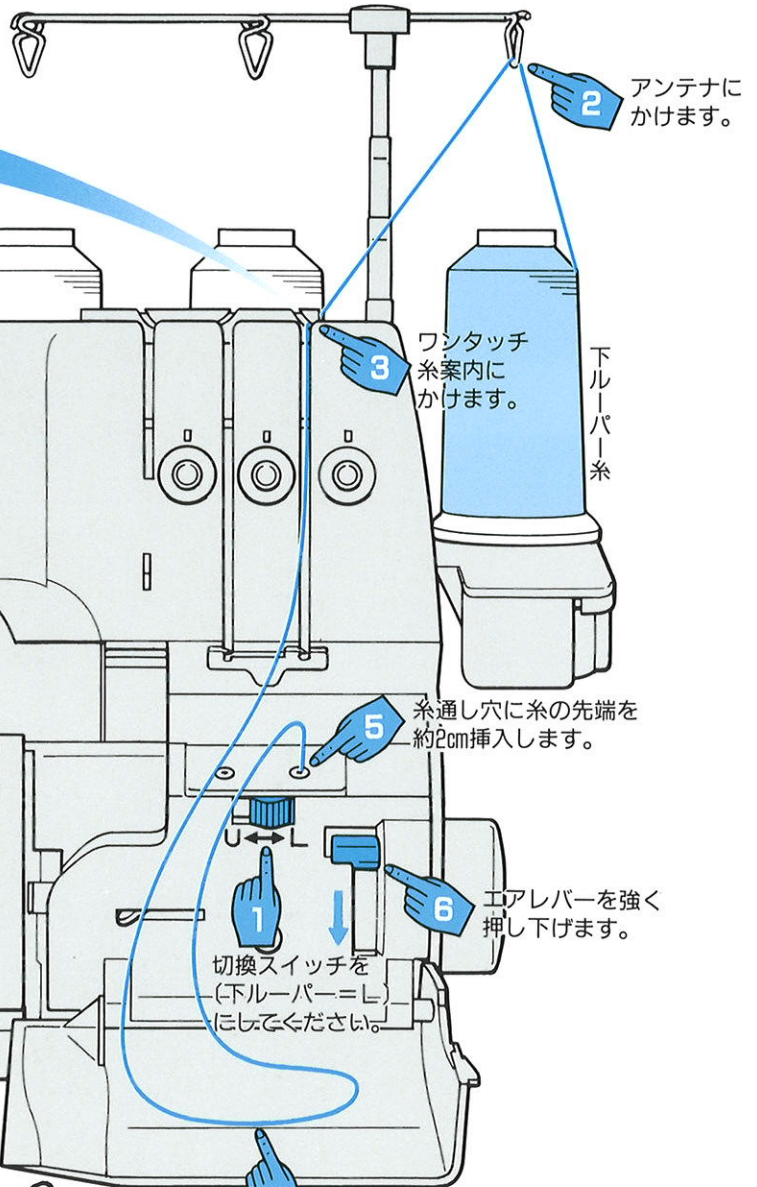
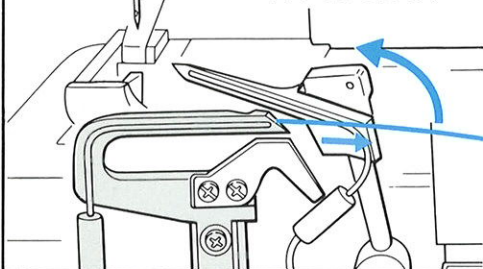
(2)下ルーパー糸のかけ方

糸かけをする場合は必ずP6の「はずみ車の固定」が行われていることをご確認ください。



6 エアレバーを押し下げますと「下ルーパーの先端」から糸が勢いよく飛び出します。

最後に糸は押え金の上を通って左方向に持っていきます。



2 アンテナにかけます。

3 ワンタッチ糸案内にかけます。
下ルーパー糸

5 糸通し穴に糸の先端を約2cm挿入します。

6 エアレバーを強く押し下げます。

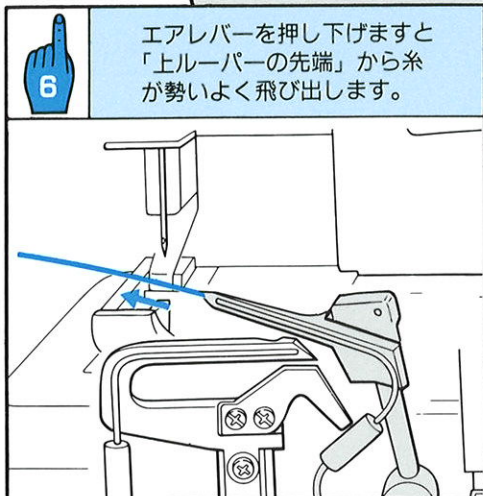
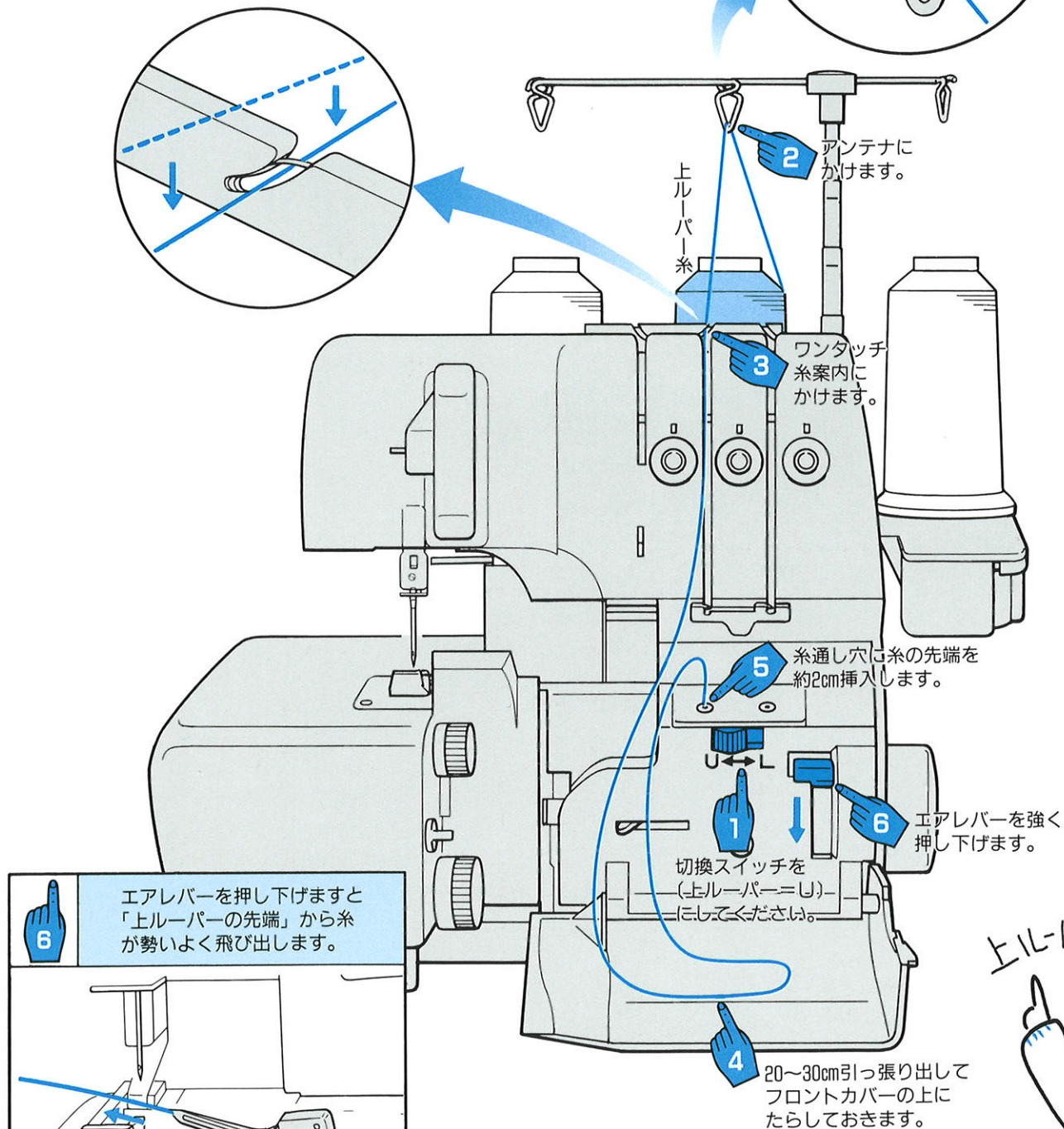
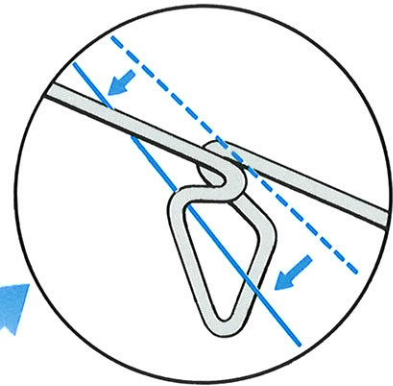
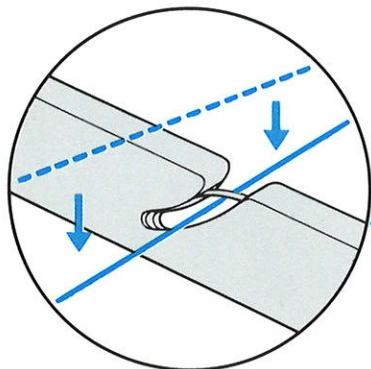
1 切換スイッチを(下ルーパー=上)にしてください。

4 20~30cm引っ張り出してフロントカバーの上にとらしておきます。

糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押ししても糸は通りません。

(3)上ルーパー糸のかけ方

糸かけをする場合は必ずP6の「はずみ車の固定」が行われていることをご確認ください。

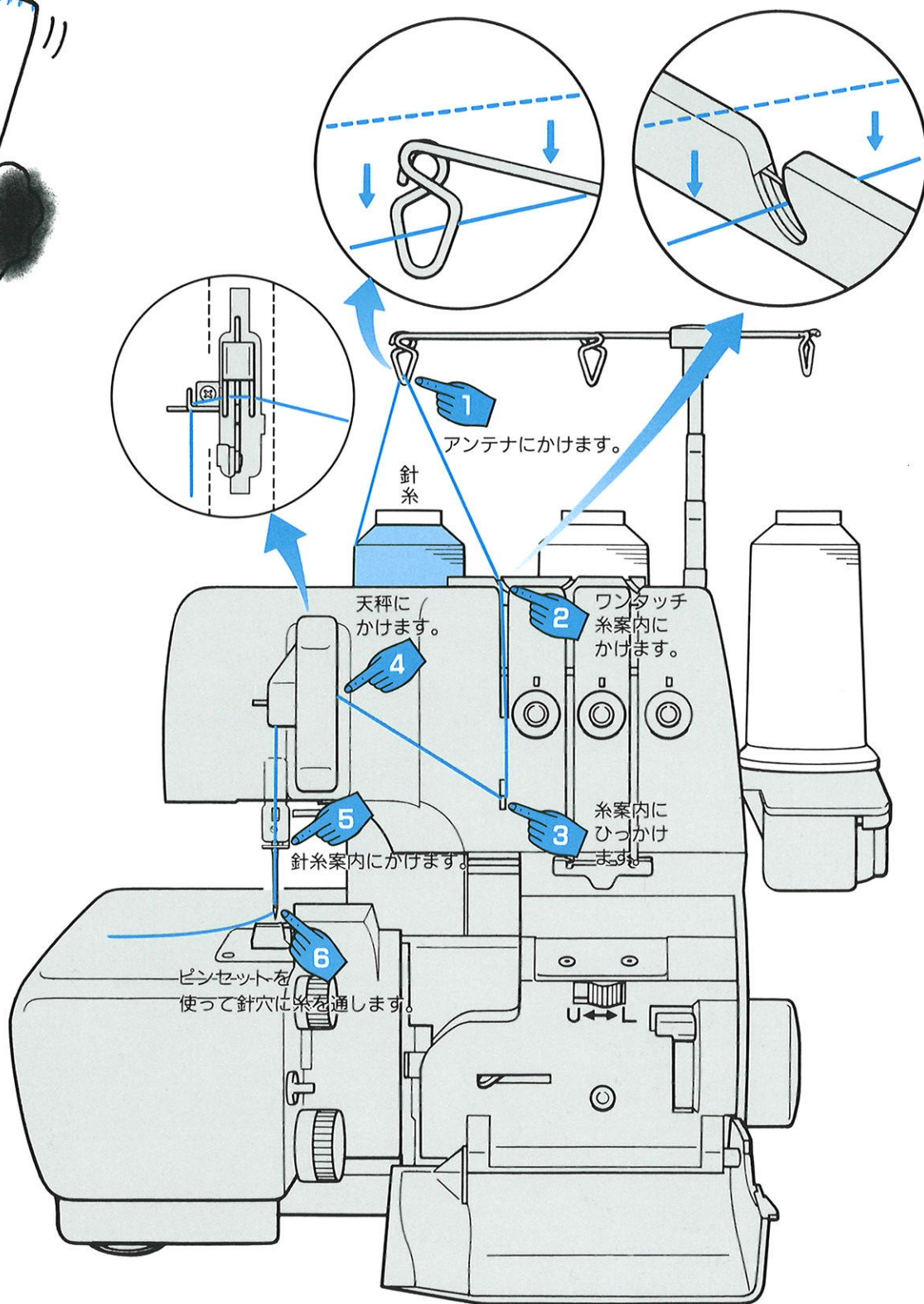


上ル-10



糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押しても糸は通りません。

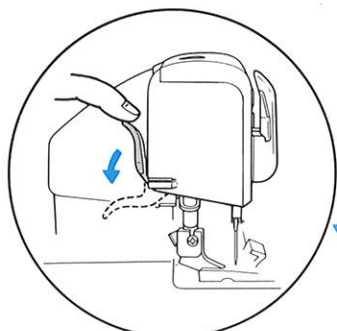
(4) 針糸のかけ方



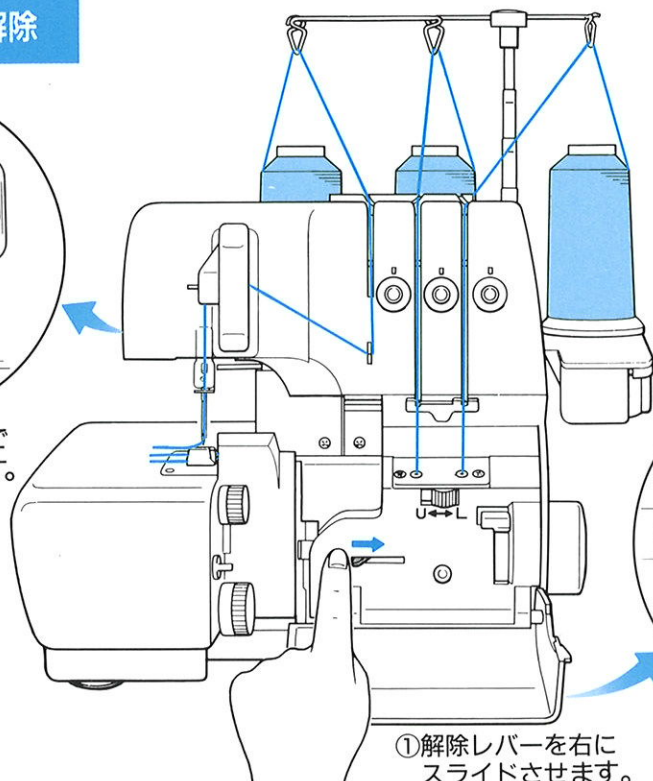
(5)糸かけが終わったら

糸かけが終わりましたら、必ず「はずみ車の固定」を解除してください。
この「解除」をしないでコントローラーを踏みますと故障の原因になります。

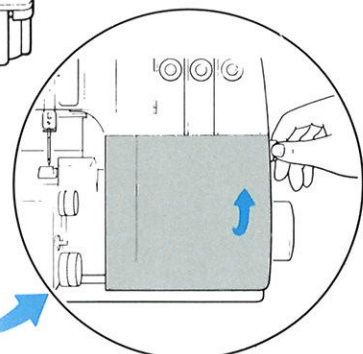
はずみ車の固定の解除



③押え上げレバーで
押え金を下げます。

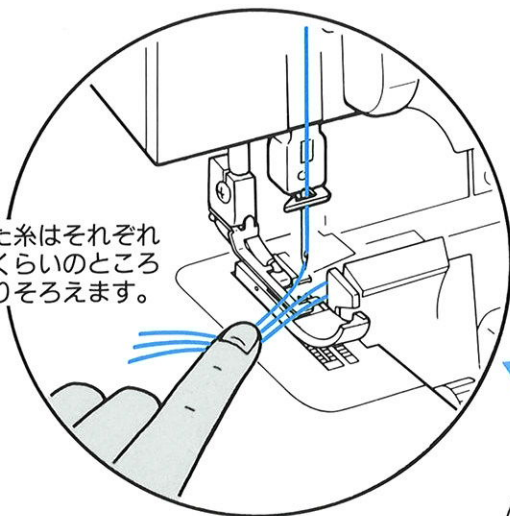


①解除レバーを右に
スライドさせます。

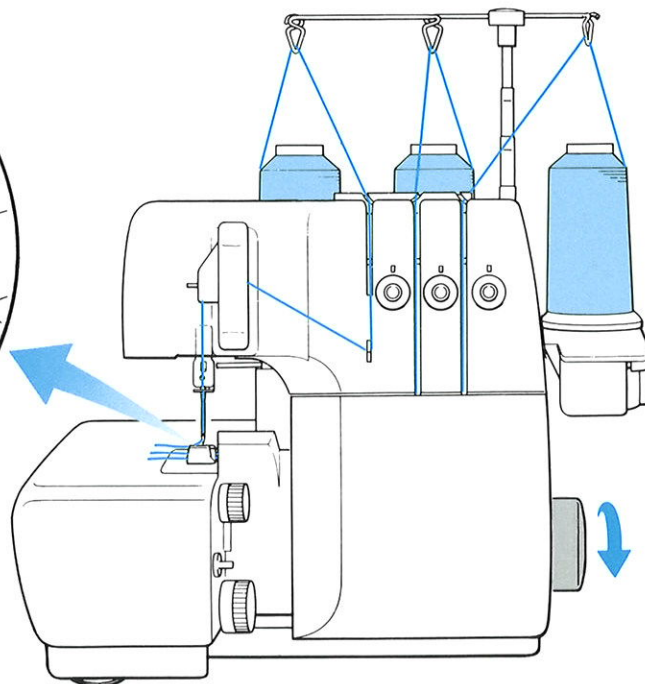


②フロントカバーを閉めます。

通した糸はそれぞれ
10cmくらいのところで
切りそろえます。



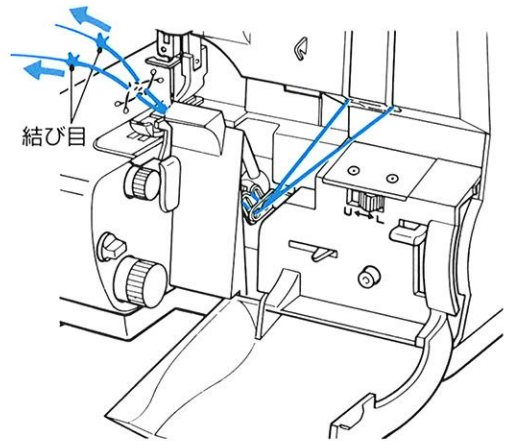
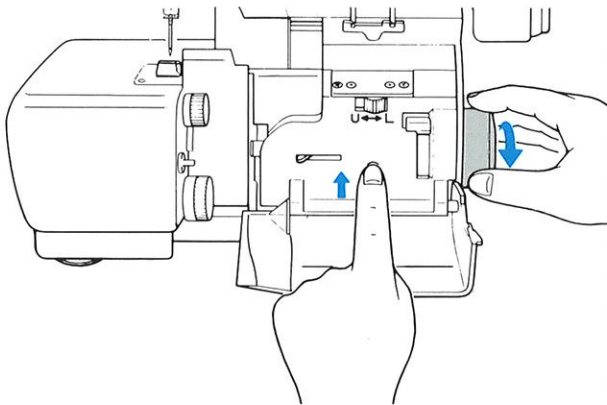
最後に3本の糸を軽く押え、
はずみ車を数回まわして、空環
がうまくできるかを確認してく
ださい。





(6) 太い糸のかけ方

エアスルーシステム（自動エア糸通し）の糸通し穴に入らないような、飾り糸として使われる太い糸や毛糸は下記のようにすれば使用することができます。

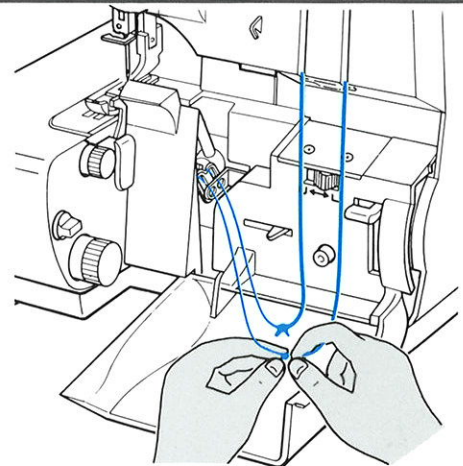
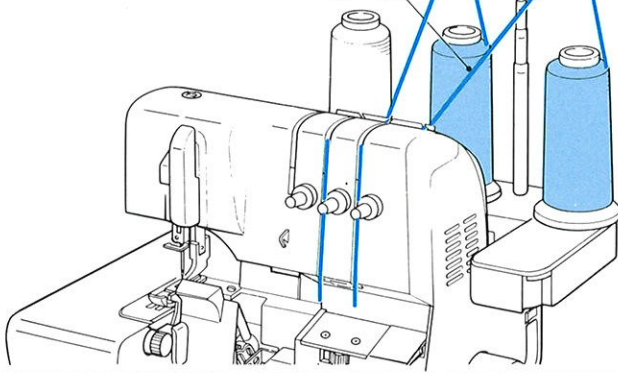
P6の「はずみ車の固定」を行ってください。



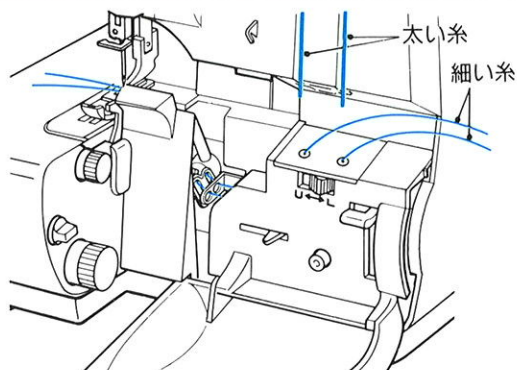
⑤ 結び目を引き出し、切ります。




① 糸通し穴の手前まで太い糸を通しておきます。
(P7/8の   参照)

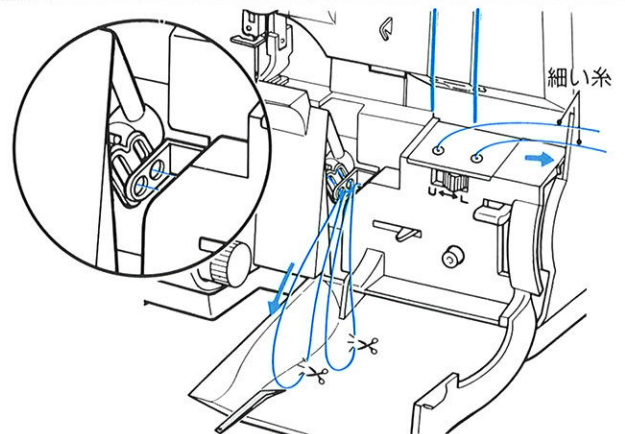
太い糸



④ 太い糸と細い糸を結びます。



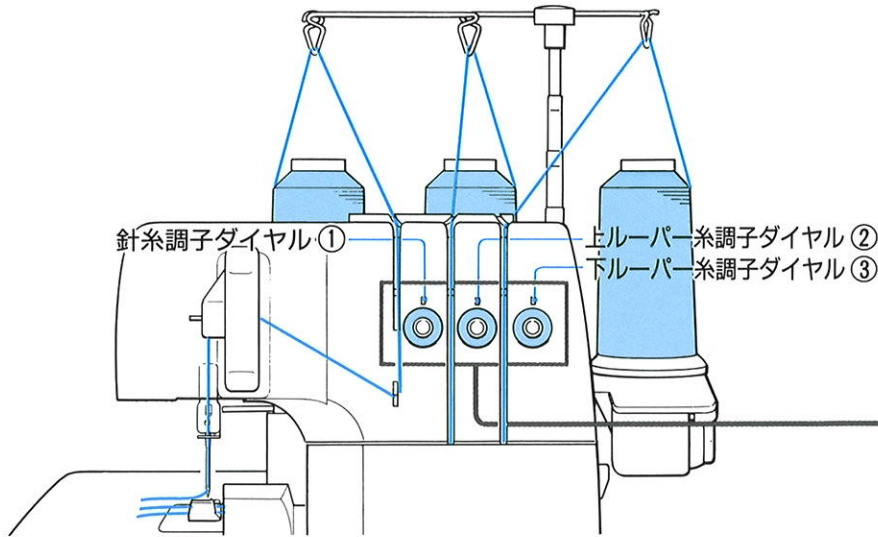
② エアスルーを使ってまず細い糸を通しておきます。(P7/8の   ~  参照)
通し終わったら「はずみ車の固定」は解除してください。



③ ピンセットで糸を引き出し、切ります。
糸通し穴の細い糸は抜き取ります。

糸調子(糸のバランス)の調整

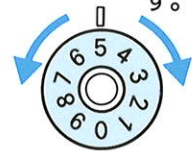
布地の種類や厚さ、また糸の種類や太さによって、縫い目が乱れる場合があります。その場合は、バランスのとれた美しい縫い目になるように、各糸調子ダイヤルで調整してください。



それぞれの糸調子ダイヤルは

数字が小さくなるにしたがって、糸調子は弱くなります。

数字が大きくなるにしたがって、糸調子は強くなります。

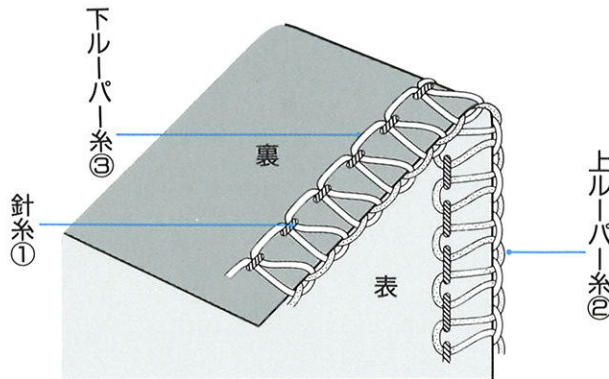


※合わせ縫いをするときは、かがり縫いのときよりも、針糸調子を少し強めにしてください。

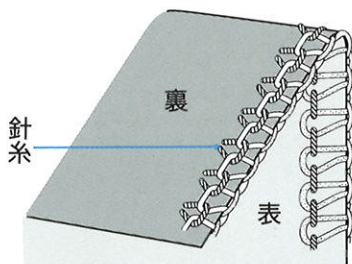
糸調子(糸のバランス)の調整



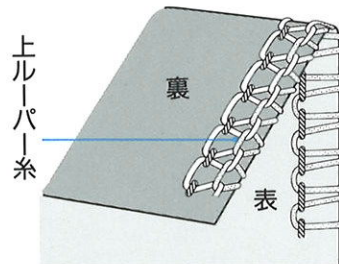
バランスのとれた美しい縫い目



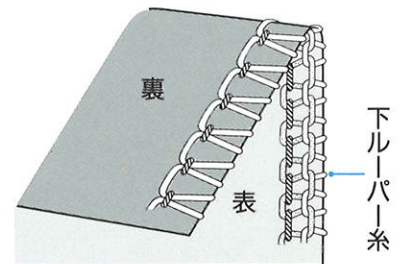
針糸が弱すぎる場合



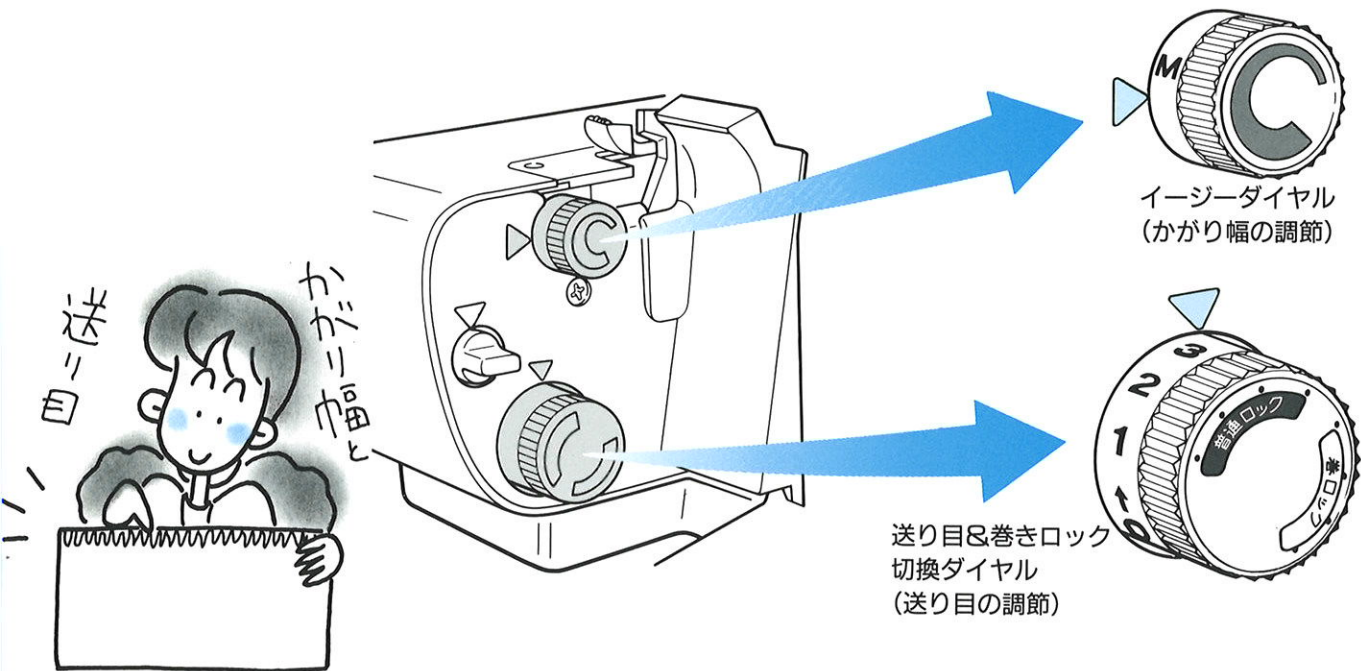
上ルーパー糸が裏側へ巻き込む場合



下ルーパー糸が表側へ巻き込む場合

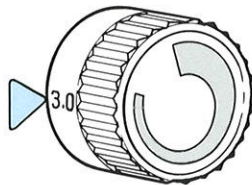
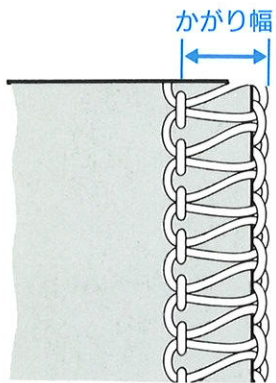


かがり幅と送り目の調節

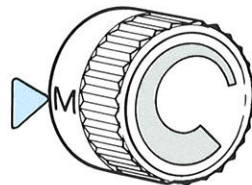


かがり幅の調節

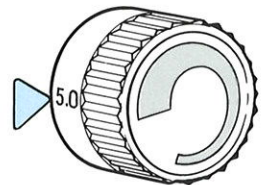
3.0mm~5.0mmの範囲で調節できます。



3.0mm幅



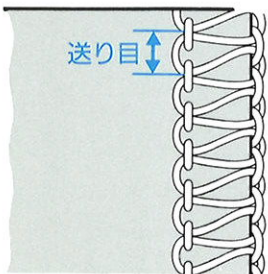
3.6mm幅



5.0mm幅

送り目の調節

普通ロック・巻きロックともに1~4mmの範囲で調節できます。



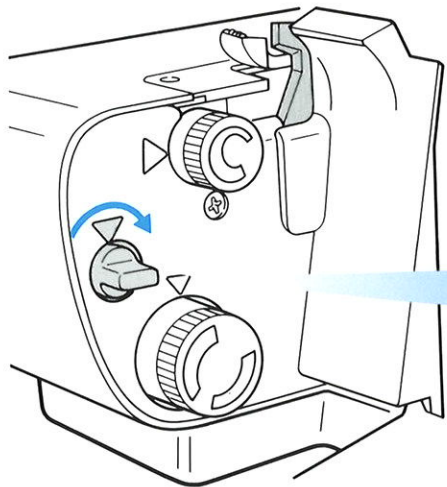
普通ロック



巻きロック

上メスの固定 / 押え圧力の調節

(1) 上メスの固定



ピンタックや飾りステッチなどメスで布地を切らないで縫う場合は、メスロックダイヤルを (LOCK) にしてください。上メスが固定され動かなくなります。



メスロックダイヤル

固定された上メスは、そのまま布ガイドとして使用できます。

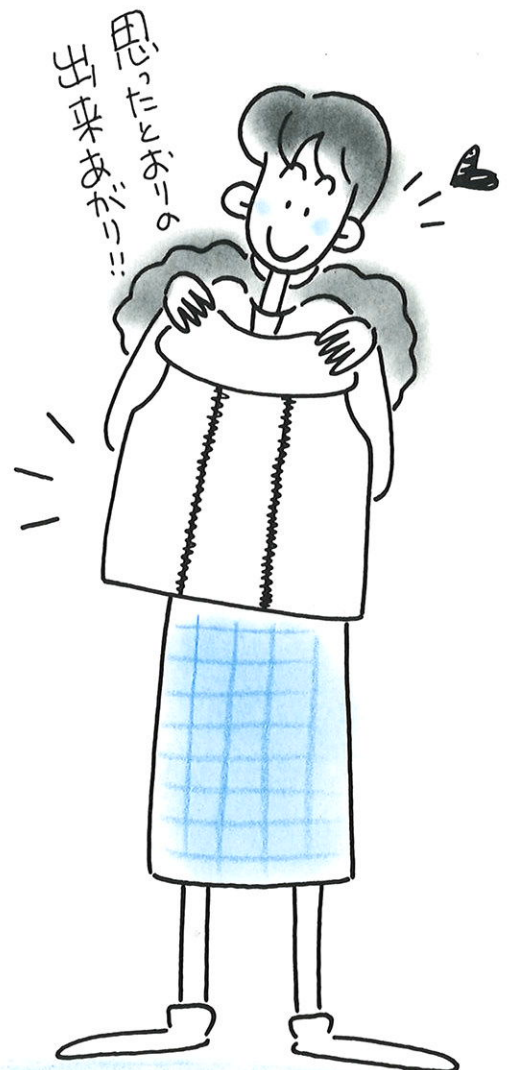
(2) 押え圧力の調節

滑りやすい生地や厚地を何枚も重ねて縫う場合など押え圧力を調節したほうが縫いやすい場合があります。



コインなどで「押え圧力調節ネジ」を回して調節ください。

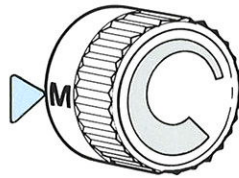
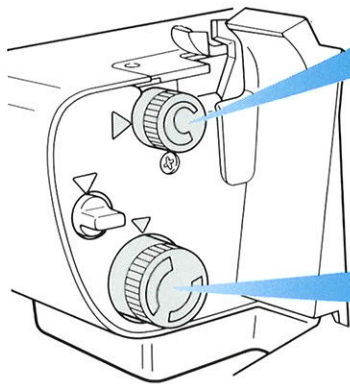
※工場出荷時にほとんどの布地に合うように押え圧力が調節されていますので、普段はあまり調節する必要はありません。



巻きロックでの縫い方

「衣縫人」は、布端をひと折りしながら細くかがっていく(巻きロック)で縫うことができます。巻きロックはオーガンジーやジョーゼットなどの薄地の装飾的なかがり縫いに最適です。

巻きロックへの切換



イージーダイヤル

イージーダイヤル(かがり幅)を(M)に合わせます。
※(M)は巻きロックで縫う場合の標準値です。



送り目&巻きロック切換ダイヤル

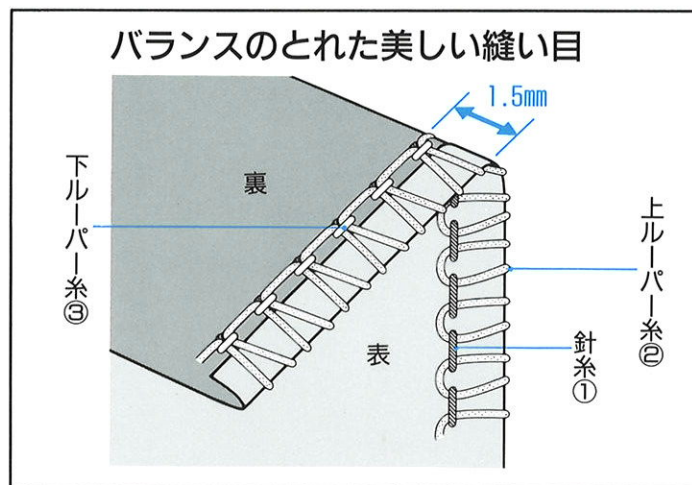
送り目&巻きロック切換ダイヤルを(巻きロック)に合わせます。

※巻きロックの送り目も、普通ロックと同様に1~4mmの範囲で選ぶことができます。

注普通ロック↔巻きロックの切換は一度数字を`4`にしてから任意の数字にしてください。

糸調子(糸のバランス)の調整

巻きロックは布端を裏側に折り込みますので、下ルーパの糸調子の数値を普通ロックの時よりも3~5強めてください。

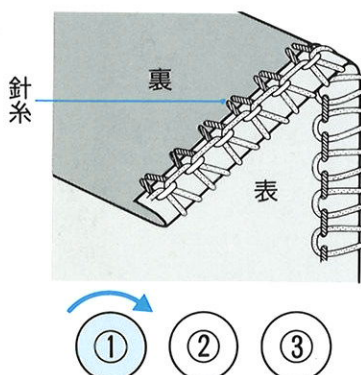


ワンポイントアドバイス

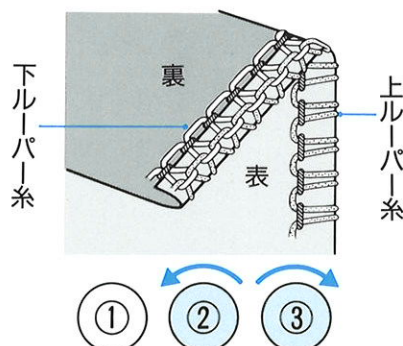
巻きロックをする場合は、針糸・下ルーパー糸に細い糸、上ルーパー糸にウーリーナイロン糸を使うときれいに仕上げることができます。



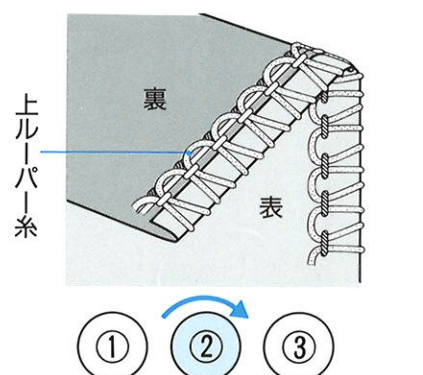
針糸が弱すぎる場合



上ルーパー糸が強い、または下ルーパー糸が弱すぎる場合



上ルーパー糸が弱すぎる場合



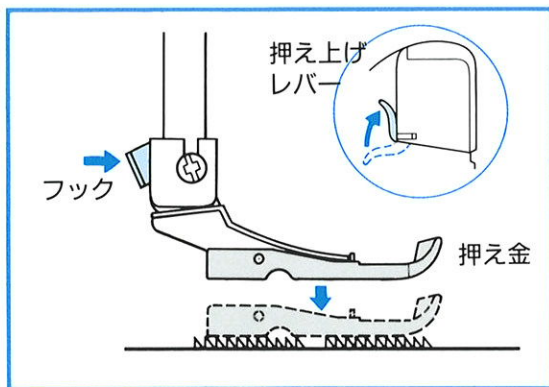
押え金の取り付け・取りはずし方

押え金の取り付け ・取りはずし方

「衣縫人」専用アタッチメント（各種押え金）を使用する場合の、押え金の取り付け・取りはずしは、下記の要領で行ってください。

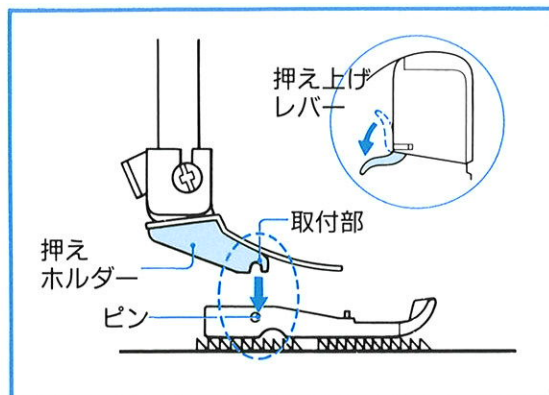
（取りはずし方）

- ①押え上げレバーで押え金を上げます。
- ②フックを押すと押え金はずれます。



（取り付け方）

- ①押えホルダーの取付部の真下に、押え金のピンがくるように置きます。
- ②押え上げレバーを下げます。



※押え金が入りにくい場合は、押え上げレバーを下げたままフックを押してください。

「衣縫人」専用アタッチメント（別売）
裾引き押え ビーズ押え
ゴム押え（テグス入れ兼用）



針・メスの交換

【注意！】 針やメスの交換は必ず電源を切ってから行ってください。通電したままですとミシンが急に動くなど、危険です。

(1) 針の交換

針は消耗品です。針先が曲がったり、磨耗していると糸切れや目飛びの原因となります。早めに交換してください。

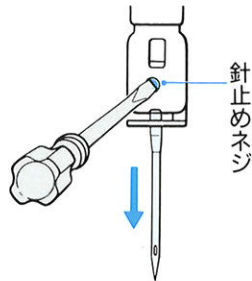
針は必ず

オルガンHA×1SP(#11・14)

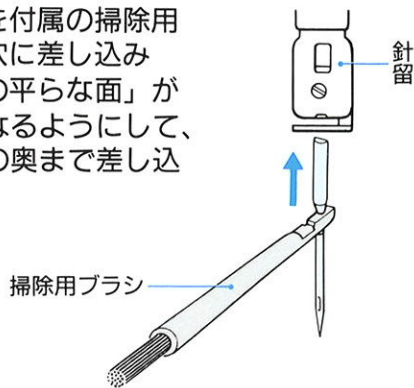
をご使用ください。

※この針以外は使用できません。ただし、特に針どおりの悪い生地を縫う場合は「オルガンHA×1」の針のご使用をおすすめします。

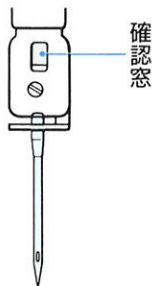
- ①はずみ車を回して、針を一番上まであげます。
- ②付属のドライバー(小)で針止めネジをゆるめて、針をはずします。



- ③新しい針を付属の掃除用ブラシの穴に差し込み「針頭部の平らな面」が後向きになるようにして、針留の穴の奥まで差し込みます。

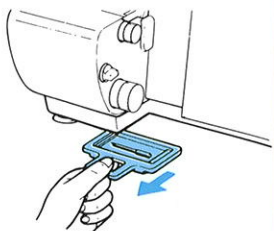


- ④確認窓で針が一番奥まで差し込まれていることを確認してから 針止めネジをしめます。



ワンポイントアドバイス

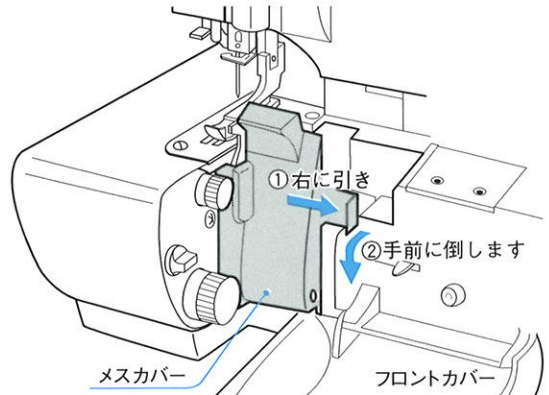
針をメスカバーの奥に落としてしまった場合は、ミシン底部にある取り出し口から取り出してください。



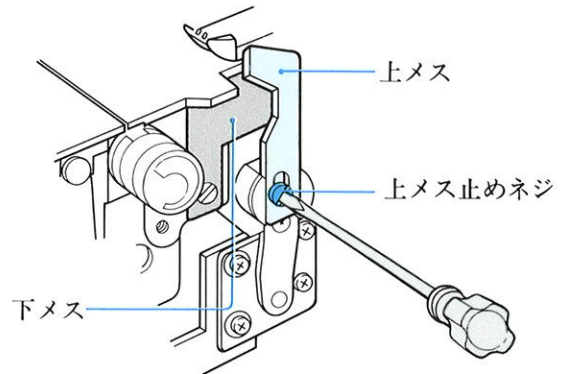
(2) メスの交換

メスは消耗品です。メスが切れなくなった場合は、通常「上メス」を交換してください。

- ①フロントカバーを開きます。
- ②下記のようにして、メスカバーを開きます



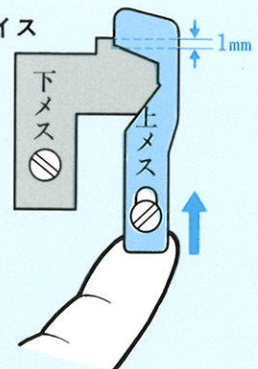
- ③はずみ車を回して、上メスを最下点にします
- ④上メスの止めネジをゆるめて、上メスをはずします。



- ⑤新しい上メスを取り付け、下メスに対して、上メスの刃先が1mm程度沈み込んだ位置で、上メス止めネジをしっかりしめます。

ワンポイントアドバイス

上メスを最下点にして指先で上メスを下から押し上げた位置がだいたい1mm程度沈み込んだ位置になります。



- ⑥最後にフロントカバーを閉じるとメスカバーも同時に閉まります。

注意

→ケガの原因になります。縫う時は必ずすべてのカバーを閉じてください。

修理を依頼される前に / 仕様 / 使用上の注意

ミシンが動かない等の異常がありましたら、修理をご依頼される前に、下記のことをご確認ください。

状況	確認内容	参考ページ
ミシンが動かない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 ・照明ライトスイッチが《I》になっていますか。 ・はずみ車の固定が《解除》されていますか。 	3 3 10
縫えない	<ul style="list-style-type: none"> ・押え金下がっていますか。 	10
普通ロックがうまく縫えない	<ul style="list-style-type: none"> ・送り目&巻きロック切換ダイヤルが《普通ロック》側になっていますか。 ・糸調子の調整をしましたか。 	13 12
巻きロックがうまく縫えない	<ul style="list-style-type: none"> ・送り目&巻きロック切換ダイヤルが《巻きロック》側になっていますか。 ・糸調子の調整をしましたか。 ・イーザーダイヤルが《M》になっていますか。 	15 15 15
目とび、糸切れがする	<ul style="list-style-type: none"> ・針はオルガン「HA×1SP」がついていますか。 ・針は針留の穴の一番奥まで入っていますか。 ・針の先が曲がったり磨耗したりしていませんか。 ・糸かけが間違っていないですか。 ・糸調子が強すぎませんか。 	17 17 17 6~10 12
メスが布地を切らない	<ul style="list-style-type: none"> ・メスロックダイヤルが《LOCK》になっていませんか。 ・上メスが磨耗していませんか。 	14 17
糸調子が強くない	<ul style="list-style-type: none"> ・糸かけをする時、押え上げレバーを下げましたか。 	10
エアレバーを押しても糸が通らない	<ul style="list-style-type: none"> ・はずみ車が《固定》されていますか。 ・ルーバー糸通し上下切換スイッチの位置は正しいですか。 ・糸通し穴に糸が2~3cm挿入されていますか。 ・糸を手前に20cmくらい引っ張り出してありますか。 ・糸がどこかに引っ掛かっていませんか。 	6 7・8 7・8 7・8 7・8

アフターサービスについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■仕様 (仕様の一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください)

かがり幅	: 1本針3本糸普通ロック……3.0~5.0mm	送り歯高さ	: 0.7mm (標準)
	巻きロック……約1.5mm	使用針	: オルガンHA×1SP (#11、#14)
縫い目(送り目)	: 1~4mm	使用糸本数	: 3本
メス上下量	: 6.5mm	照明ライト	: 100V15W
押え上がり量	: 5mm	ミシンの重さ	: 約6.8kg (モーター付完成品)

■使用上の注意

- ・エアスルーシステム (自動エア糸通し) の糸通し穴に油や水などを入れないでください。パイプが詰まる原因になります。
- ・針の止めネジに油を差さないでください。針を伝わってルーバーの穴に入り、詰まってしまう場合があります。
- ・ラクスルー (自動針糸通し) の針糸通しレバーを乱暴に押し下げないでください。フックが破損する原因になります。
- ・長期間同じ場所に置きっぱなしにしないでください。底ゴムの跡がつく場合があります。
- ・お掃除の時は中性洗剤をご使用ください。それ以外は変色する場合があります。

安全にご使用いただくために

ご使用していただくに当たっては、安全のために下記のことをお守りください。
このミシンは、日本国内向け・家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY

⚠ 警告 → 感電、火災の恐れがあります。

- ◇一般家庭用の100V電源をご使用ください。
- ◇使用後やミシンから離れるとき、また停電したときは必ず電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてください。



⚠ 注意 → 感電、火災、ケガの原因となります。



- ◆コントローラーや電源コードの上に物を乗せないでください。



- ◆お子様のご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、安全に対し十分に注意を払ってください。



- ◆以下の場所でのご使用および保管はなさないでください。
 - ・強力なスポットライトや熱器具のそば、直射日光の当たる場所
 - ・スプレー製品や酸素、引火性の高い薬品を扱っている場所
 - ・高い場所 ・お子様の手の届く場所
- ※ミシンの使用温度は0℃～40℃です。



- ◆以下のときは、必ず電源を切ってください。
 - ・メスの交換をするとき
 - ・針糸やルーパー糸をセットするとき
 - ・針板を交換するとき
 - ・押えを交換するとき
 - ・ランプの交換をするとき
 - ・針を交換するとき
- ※ランプの交換は、ガラス部分が冷めてから行ってください。

- ◆ミシン本体やコントローラー、電源コードの分解・改造等はしないでください。
- ◆電源コードの接続に、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。
- ◆電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- ◆ミシン本体の換気穴をふさがないでください。
- ◆ミシン内部にドライバーや異物を入れないでください。また糸くずやホコリがたまらないようにしてください。
- ◆以下のときはミシンのご使用を中止し、お近くの販売店にご相談ください。
 - ・電源コードまたは電源プラグが破損、劣化したとき
 - ・落下などにより破損したとき
 - ・ミシンが濡れたとき
 - ・異常な臭いや音がするとき
 - ・正常に作動しないとき
- ◆操作中は針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天秤、ルーパーなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。
- ◆ミシンには正規の部品をご使用ください。また曲がった針や破損している針はご使用にならないでください。
- ◆縫製中に布を無理に引っ張ったり押ししたりしないでください。
- ◆ミシンを移動するときは、把手を持って行ってください。
- ◆操作時は、ミシン本体のカバー類（メスカバー等）はすべて閉じてください。

baby lock

株式会社 ジューキ

本社/〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 TEL.03(3265)2851(代表)
 札幌 011(737)6821 仙台 022(292)3773 新潟 0250(43)4451
 東京 03(3265)8741 名古屋 052(917)3671 大阪 06(6768)3651
 倉敷 086(473)0355 広島 082(227)5781 福岡 0942(44)7921

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ
お買い上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年	月	日
販売店名			
TEL			